

YS-11 以来、半世紀ぶりの国産旅客機の実現に向けて大きく前進 国産ジェット旅客機「MRJ」初飛行に成功



① 県営名古屋空港を離陸する MRJ (2015 年 11 月 11 日)

近・中距離の運行に適した「リージョナル(地域)ジェット」の市場で世界 No1 の受注数を狙っている

2015年11月11日午前、三菱航空機の国産ジェット旅客機「MRJ」の試験機の初飛行がおよそ1時間半にわたって実施されました。

「MRJ」は国産の旅客機として半世紀ぶりに開発が進められている小型のジェット機です。開発拠点がある県営名古屋空港(愛知県)を午前9時35分に離陸した「MRJ」は、太平洋上にある自衛隊の訓練空域で上昇や下降、それに左右の旋回など基本的な性能を確認しました。その後、午前11時2分に県営名古屋空港に着陸し、1時間27分にわたる初飛行を無事に終わりました。

今後、本格的な飛行試験が実施されることになっており、航空会社への引き渡しと運航開始は2017年の予定です。

「MRJ」ってなんだ?!

「MRJ」は「ミツビシ・リージョナル・ジェット」の略称で、三菱重工の子会社の三菱航空機が開発を進めている初の国産ジェット旅客機。座席数は約70~90席、航続距離は約1800~3700キロで、今後20年間で約5000機の需要が見込まれるリージョナル・ジェット(国内線や近・中距離の国際線向け旅客機)市場向けに2008年から開発が進められてきた。当初は2011年に初飛行の予定も、設計変更や部品の改修などで5度の延期されていた。国内メーカーが民間旅客機を開発するのはプロペラ機の「YS-11」以来、半世紀ぶりとなる。



② 「YS-11」は日本の航空技術陣の手により生まれた戦後初の国産中型輸送機。総数182機生産された

JAXAの「飛翔」も初飛行をサポート

実験用航空機「飛翔II」は、MRJの初飛行に際し、飛行試験を行う空域や飛行ルート of 風や雲などの気象観測を行いました。



③ 飛行前の実験用航空機「飛翔II」とMRJ

さらに詳しく知りたい方はコチラ

三菱航空機「MRJ」特設サイト
<http://www.flythemrj.com/j/>

Spacei 宇宙かわら版 2015年11月17日号

※「Spacei」は JAXA と JSF の共同事業です

問い合わせ先: Spacei 事務局 (一般財団法人日本宇宙フォーラム)

ホームページ: <http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ: https://www.science-event.jp/event/spacei_contact/

※特に断りのない限り日付は日本時間です。画像の出典: ①及び③JAXA、②航空自衛隊

Spacei